

令和6年度 学習の指針（シラバス） 野田市立第一中学校
 ◎学年（ 3 ） 学年 ◎教科（ 技術・家庭（技術分野） ）

使用教科書	開隆堂 技術・家庭科 技術分野		
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体験的な活動を通して、技術や技能の知識・理解を深める。 ・ 生活や社会で利用されている生物育成、情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。 ・ 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製図等に表現し、試作等を通じて具現化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。 ・ よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。 		
学習計画	前期	◎技術科と家庭科において、隔週で交代しながら、授業を行う。 4月・生物育成（スイートバジル）について。 5月・日本の土地や農業の現状について。 ・発芽の条件について。 6月・育成環境について。 ・育成計画および観察について。 7月・収穫について。	
	後期	9月・コンピュータの機能とハードウェアとソフトウェアについて。 10月・ソフトウェアの種類と働きについて。 11月・ネットワークについて。 1月・セキュリティと著作権について。 2月・デジタル作品の製作	
主な活動形態や使用教材など	【主な活動形態】 個人活動、ペアワーク、グループワーク ＊ねらい、内容に応じて適切な形態をとり、活動します。 【主な使用教材】 各種道具、デジタル機器（PC、eラーニング教材等）、ノートなど ＊ねらい、内容に応じてより効果的な活用方法を選択していきます。		
評価の観点 別内容や評価の方法	観点	評価の内容	評価の方法
	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生物育成に関して、基本的な内容を理解できるか。 ・ 生物育成は、限られた時間の中で、積極的な活動を行うことができるか。 ・ ソフトウェアの特徴や操作法を理解し、機能を生かした作業を行うことができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 確認テスト（直し） ・ 授業観察 ・ 部品加工 ・ 作品精度 ・ ノート 等
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンピュータやソフトウェアの特徴を知り、工夫しながら作業を行うことができるか。 ・ 植物に関する知識を習得し、継続的に活動できているか。 ・ 自分なりの考えを持って、表現し、伝え、創意あふれる作品を作ることができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 確認テスト（直し） ・ 自己評価カード ・ ノート ・ 授業観察 等
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何事も関心を持って、意欲ある態度を持って授業に臨むことができるか。 ・ 安全性を考えながら、協力し、積極的に作業を行うように努めているか。 ・ 授業の挙手、発表等積極的に行うことができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業態度 ・ 作業進度 ・ 自己評価カード ・ 提出物 等
学習についてのアドバイス	【授業では】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 忘れ物をしないようにしましょう。 ・ 安全第一で作業を行うので、服装身だしなみを整えて授業に臨みましょう。 ・ できないからやらないのではなく、やれるようになる努力をしましょう。 【家庭では】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 宿題があれば、必ずやってくる。 ・ 製作した作品は大切に使用しましょう。 ・ 身についた技能や考えを、家庭や社会で実践できるようにしましょう。 		